

生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会2012

LIFE2012

第10回生活支援工学系学会連合大会

第12回日本生活支援工学会

第28回ライフサポート学会

日本機械学会福祉工学シンポジウム2012

開催にあたって

第12回日本生活支援工学会大会 大会長 山田 陽滋 (名古屋大学)

今回は、生活支援工学会が幹事学会となって、連合大会LIFE2012を開催します。設立10年を経た同学会が、さらに向こう10年を見据えて提言した将来ビジョンに沿って、その第一歩を力強く踏み出すべく、チュートリアル、シンポジウム、関連セッションの企画実現に努めました。その心は、「福祉や医療の現場を尊重する異分野の同志にご参集頂き、相互の情報発信と議論による自己研鑽・社会貢献の場としてご活用頂きたい」であり、これは3学会大会長をはじめ、運営メンバー、そして参加者一同に共通の願いであると思います。大会開催を通じて、実り多き学術技術の創見がひとつでも多く発現されることを祈念申し上げます。

第28回ライフサポート学会 大会長 松本 健郎 (名古屋工業大学)

幹事学会の山田大会長が連合大会にすばらしい略称をつけて下さいました。3学会共通の最重要キーワードであるLIFEの名の下、会員の皆様に多数お集まり頂き、最先端の研究成果や生命・生活支援の在り方について、活発な討論が行なわれますことを祈念致しております。

日本機械学会福祉工学シンポジウム2012 実行委員長 辻内 伸好 (同志社大学)

日本機械学会・福祉工学シンポジウムの実行委員長として、LIFE2012の運営に携わることができまことに、深く感謝申し上げます。人の運動と感覚の計測、補助や代行のためのアイデアや技術について、多くの研究成果をご発表いただけることを期待しております。

生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会2012

LIFE2012

第10回生活支援工学系学会連合大会 第12回日本生活支援工学会 第28回ライフサポート学会 日本機械学会福祉工学シンポジウム2012

主催: 日本生活支援工学会 (幹事学会:第12回大会長 名古屋大学 山田 陽滋)
ライフサポート学会 (第28回大会長 名古屋工業大学 松本 健郎)
日本機械学会 (福祉工学シンポジウム2012実行委員長 同志社大学 辻内 伸好)

共催: 名古屋大学大学院工学研究科
名古屋大学グローバル COE プログラム「マイクロ・ナノメカトロニクス教育研究拠点」(特別講演会事業)

会期: 2012年11月2日(金) ~4日(日)

会場: 名古屋大学東山キャンパス(愛知県名古屋市千種区不老町1)
アクセスマップ <http://www.nagoya-u.ac.jp/global-info/access-map/access/>
大会ホームページ: <http://www.life.mech.nagoya-u.ac.jp/life2012/index.html>

協賛学会・団体(50音順):

一般財団法人 製品安全協会
一般財団法人 ニューメディア開発協会
一般社団法人 電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ
一般社団法人 日本コンピュータ外科学会
一般社団法人 日本作業療法士協会
一般社団法人 日本生体医工学会
一般社団法人 日本人間工学会
一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会
一般社団法人 人間生活工学研究センター
公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会
公益社団法人 精密工学会
公益社団法人 日本設計工学会
公益社団法人 日本理学療法士協会
産業技術連携推進会議 医療福祉技術分科会
日本義肢装具士協会
日本義肢装具学会
日本褥瘡学会
日本生体磁気学会
日本福祉のまちづくり学会

日本福祉用具・生活支援用具協会
バイオメカニズム学会
臨床歩行分析研究会

本大会は、公益財団法人中部電気利用基礎研究振興財団からの開催助成を得て実施しております。

【プログラム】

● 特別講演会事業

- ・特別講演1 11月3日 16:00～17:00 特別講演会場(豊田講堂)

「Function and Feelings: Assessing Psychosocial Outcomes for Assistive Technologies」
Professor Jeffrey W. Jutai (Interdisciplinary School of Health Sciences, University of
Ottawa, Canada Bruyère Research Institute, Ottawa, Canada)

Abstract: Purpose. The aim of this paper is to highlight the achievements and limitations of research on assessing the outcomes of assistive technology interventions for enhancing function and wellbeing.

Method. The research evidence for the impact of assistive technologies on psychosocial outcomes is examined. Several approaches to improving the quality of outcomes research pertaining to assistive technologies are described. They include acknowledging that assistive technologies are complex health interventions, the importance of grounding research in well-developed conceptual frameworks and theories, and the need for measurement tools that are accessible and easy to use.

Results and Conclusions. There have been significant advances in approaches to assessing psychosocial outcomes for assistive technologies. Several promising measurement tools have been developed; however, fulfilling the promise of psychosocial assessment has been difficult because of slow adoption of measurement tools by researchers and health care professionals. More effective methods for knowledge translation are needed.

- ・特別講演2 11月3日 17:00～18:15 特別講演会場(豊田講堂)

「セラピー用ロボット・パロによるライフ・イノベーション」

柴田 崇徳 (産業技術総合研究所 知能システム研究部門 主任研究員)

要旨: ふれあいにより、人の心を豊かにすることを目的とするアザラン型ロボット・パロ。アートとテクノロジーの融合として、富山県で心を込めて作られている。生活におけるペットの役割だけではなく、医療福祉施設でのセラピーも目的とし、認知症患者、発達障害児、精神障害者等のケアで活躍している。デンマークは65%以上の自治体が導入、アメリカは医療機器に承認、ドイツは健康保険に適用等、着実に世界の社会システムに組み込まれている。

● シンポジウムセッション「介護・医療分野への機器導入での方向性と課題」

11月2日 12:15～14:30 A会場(321講義室)

趣旨： 来るべき少子高齢化社会に於いても、高齢の方々、障害を持たれた方々がQOLを維持、且つ、自立した生活を営める事が今後の重要課題となっている。これら分野での機器の果たすべき役割と開発の方向性と課題について実際の実例を交えながら議論していく場となれば幸いである。

講演者：

- 大島 伸一 (国立長寿医療研究センター)
- 井上 剛伸 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)
- 飯島 浩 (横浜総合リハビリテーションセンター)
- 鴻巣 仁司 (トヨタ自動車)
- 本田 幸夫 (パナソニック)
- 才藤 栄一 (藤田保健衛生大学)

● チュートリアルセッション「実証試験に向かおう」

11月3日 9:00～12:00 A会場(321講義室)

趣旨： 福祉や医療の現場においてこそ、多分野にわたる学術的知見や多方面にわたる技術の結集が行われる。本セッションでは、現場に横たわる課題をいかに整理し方策を講じるかについて、講演者それぞれの立場から基礎を重視し応用にマッチするチュートリアルな講演が展開される。

講演者：

- 対馬 栄輝 (弘前大学)
- 山内 繁 (支援技術開発機構)
- 能登 裕子 (純真学園大学)
- 石原 正博 (東名ブレース)
- 大野 ゆう子 (大阪大学)
- 長倉 俊明 (大阪電気通信大学)

● 学生連合会企画セミナー「博士課程進学・研究者への道標」

11月2日 15:15～17:15 A会場(321講義室)

趣旨： 今回大会から初めて、学生連合会としての企画をスタートすることとなりました。学生連合会は学生による学生のための新しい組織で、LIFE 領域で研究を進める学部生～博士課程の学生達の「自立と成長」を促す目的で創設されました。本セミナーでは、経験豊かな幅広い年代の先生方を迎え、講演を通し研究者としての経験やメッセージを伝えて頂くことで、将来を考える学生へ博士課程進学・研究者として進むべく未来ある道標を示して頂きます。また、先生方とのディスカッションを通し、自由で将来性のある学生が「自ら考え、研究者としての道を切り開いていく」きっかけにして頂きたいです。学生の皆様！熱い想いをもち、積極的な参加を期待しています!!

講演者：

- 山田 一 (博士国際協同研究所)
- 松本 健郎 (名古屋工業大学)
- 飯島 淳彦 (新潟大学)
- 橋本 朋子 (奈良女子大学)
- 大田 慎一郎 (岡山県立大学)

● オーガナイズドセッション(OS)

- OS1-1: ニューロリハビリテーション・ロボティクス 11月2日 13:00~15:00 F会場(341 講義室)
山本 紳一郎(芝浦工業大学), 河島 則天(国立障害者リハビリテーションセンター研究所)
- OS1-2: 人と人の絆を大切にしたいライフイノベーションのための技術開発
11月2日 15:15~16:30 D会場(332 講義室)
佐野 明人, 森田 良文, 坂口 正道(名古屋工業大学)
- OS1-3: 生体流体力学 11月2日 15:15~17:30 E会場(333 講義室)
山根 隆志(神戸大学), 増澤 徹(茨城大学)
- OS1-4: 大学新卒者の福祉分野への就職問題 11月2日 15:15~16:15 F会場(341 講義室)
前田義信(新潟大学), 門野友彦(リクルート)
- OS1-5: 高齢者の生活機能、特に活動能力に関する新しい指標の開発について
11月2日 16:45~17:45 D会場(332 講義室)
鈴木 隆雄(国立長寿医療研究センター), 井上 剛伸(国立障害者リハビリテーションセンター)
- OS2-1: 障害者のエンパワメントを促進する娯楽ゲーム 11月3日 10:00~12:00 C会場(331 講義室)
前田 義信(新潟大学), 新川 拓也(大阪電気通信大学)
- OS2-2: 細胞制御工学①,② 11月3日 10:00~12:00, 13:00~14:45 E会場(333 講義室)
岸田 昌夫(東京医科歯科大学), 堀内 孝(三重大学), 松本 健郎(名古屋工業大学),
山岡 哲二(国立循環器病研究センター研究所)
- OS2-3: 看護と工学 11月3日 10:00~12:00 F会場(341 講義室)
森 武俊(東京大学), 山田 憲嗣(大阪大学)
- OS2-4: 医療福祉用ロボット・メカトロニクス①,②
11月4日 10:00~12:00, 13:00~14:15 H会場(222 講義室)
田中 幹也(山口大学), 柴田 論(愛媛大学)
- OS2-5: 医療・福祉・保健の現場で役立つリスクアセスメントとニーズ
11月3日 13:00~15:00 A会場(321 講義室)
山下 和彦(東京医療保健大学)
- OS2-6: 人と生活支援機器の日常空間での共存のリスクと人体損傷
11月3日 13:00~14:30 D会場(332 講義室)
松浦 弘幸(国立長寿医療研究センター), 中野 正博(純真学園大学),
根本 哲也(国立長寿医療研究センター), 玉川 雅章(九州工業大学)
- OS2-7: イノベーションをもたらすストレスマーカー測定機器の展望
11月3日 13:00~14:30 F会場(341 講義室)
山口 昌樹, 佐々木 誠(岩手大学)
- OS3-1: 生活支援モビリティの実用化開發現状とユニバーサル化
11月4日 9:30~12:00 A会場(321 講義室)
松本 治(産業技術総合研究所), 山田 陽滋(名古屋大学)
- OS3-2: 生活支援モビリティの安全性評価 11月4日 13:00~14:30 A会場(321 講義室)
藤川 達夫, 小口 誠(日本自動車研究所), 山田 陽滋(名古屋大学)

● 一般講演(GS)

GS1-1: 歩行・移動支援	11月2日	11:00~12:00	E会場(333 講義室)
GS1-2: 脳機能とその応用	11月2日	11:00~11:45	G会場(342 講義室)
GS1-3: 視覚障害支援・アクセシビリティ①	11月2日	13:00~13:45	E会場(333 講義室)
GS1-3: 視覚障害支援・アクセシビリティ②	11月2日	14:00~14:45	E会場(333 講義室)
GS1-4: 日常生活支援①	11月2日	13:30~15:00	G会場(342 講義室)
GS1-4: 日常生活支援②	11月2日	15:15~16:30	G会場(342 講義室)
GS1-5: 義肢装具①	11月2日	15:15~16:15	B会場(322 講義室)
GS1-5: 義肢装具②	11月2日	16:30~17:30	B会場(322 講義室)
GS2-1: 医療材料	11月3日	9:00~ 9:45	B会場(322 講義室)
GS2-2: 高齢者支援	11月3日	9:00~ 9:45	D会場(332 講義室)
GS2-3: 細胞工学	11月3日	8:45~ 9:45	E会場(333 講義室)
GS2-4: 人体損傷	11月3日	8:45~ 9:45	F会場(341 講義室)
GS2-5: 医療機器①	11月3日	10:00~11:00	B会場(322 講義室)
GS2-5: 医療機器②	11月3日	11:00~12:00	B会場(322 講義室)
GS2-5: 医療機器③	11月3日	13:00~13:45	B会場(322 講義室)
GS2-5: 医療機器④	11月3日	14:00~14:45	B会場(322 講義室)
GS2-6: 生体情報計測①	11月3日	10:00~10:45	G会場(342 講義室)
GS2-6: 生体情報計測②	11月3日	11:00~12:00	G会場(342 講義室)
GS2-7: 身体計測とモデリング①	11月3日	13:00~14:30	G会場(342 講義室)
GS3-2: 身体計測とモデリング②	11月4日	10:00~11:00	G会場(342 講義室)
GS3-2: 身体計測とモデリング③	11月4日	11:00~12:00	G会場(342 講義室)
GS3-2: 身体計測とモデリング④	11月4日	13:00~14:00	G会場(342 講義室)
GS3-1: 福祉機器①	11月4日	10:00~11:00	F会場(341 講義室)
GS3-1: 福祉機器②	11月4日	11:15~12:00	F会場(341 講義室)
GS3-1: 福祉機器③	11月4日	13:00~14:15	F会場(341 講義室)
GS3-3: 立位・移乗	11月4日	10:45~12:00	B会場(322 講義室)
GS3-4: リハビリテーション①	11月4日	11:00~12:00	E会場(333 講義室)
GS3-4: リハビリテーション②	11月4日	13:00~14:15	E会場(333 講義室)
GS3-5: 車いす	11月4日	13:00~14:15	B会場(322 講義室)

● LIFE2012学生アイデアコンテスト授賞式, 若手プレゼンテーション賞授賞式, 閉会式

11月4日 14:45~15:30 A会場(321 講義室)

● 企業展示(順不同)

11月2日 9:30~11月4日 14:30 企業展示会場(工学部3号館南棟5F)

株式会社大塚商会

株式会社モンテシステム

ローランド ディー.ジー.株式会社

日本バイナリー株式会社

有限会社追坂電子機器

株式会社データ・デザイン

株式会社寿献

株式会社トヨタケーラム

【大会参加費】

当日会場での受付のみとします。事前登録は行いません。

一般学会員(3学会いずれかの会員): 8,000円

一般非学会員: 15,000円

学生会員: 2,000円

講演論文集CD-ROM(別売り): 2,000円

【懇親会】

日時: 11月3日 18:30~20:30

場所: 豊田講堂

会費: 一般 4,000円, 学生 2,000円

【発表要領】

・発表方法

オーガナイズドセッション, 一般セッションともに発表形式はすべて口頭発表とします。液晶プロジェクタによるPC発表のみとします。

・発表時間

一般セッションは、口頭発表10分+質疑4分+交代1分とします。オーガナイズドセッションの発表時間は、各オーガナイザにご確認ください。

・使用機器

D-SUB15ピンを入力とした液晶プロジェクタを用います。

※講演者へのお願い

- ・大会側ではPCの用意は致しませんので、各自PCの持参をお願いいたします。また、D-SUB15ピンと異なる形状の出力端子の場合は、変換アダプターをご持参ください。
- ・セッション開始前までに、会場の係員に到着した旨をお伝えください。また、休み時間の間にPCの接続と動作の確認をお願いいたします。

【バリアフリーシステム開発財団奨励賞】

35歳以下のライフサポート学会の会員または学生会員で、本賞の受賞歴が無い方を対象とした賞です。講演登録時に申請した者を対象として、まず投稿講演論文により一次審査を行いました。一次審査を通過した申請者は、ファイナリストとして初日(11月2日)午前中のバリアフリーシステム開発財団賞選考会にて講演いただきます。ライフサポート学会の理事、評議員を中心とする審査委員により講演を審査し、受賞者を決定します。受賞者だけでなく、ファイナリストも表彰されますので、一次審査通過者は必ず以下の選考会と授賞式に参加して下さい。

・バリアフリーシステム開発財団奨励賞選考会 11月2日 9:00~12:00 D会場(332講義室)

・バリアフリーシステム開発財団奨励賞授賞式

11月3日 15:30~15:45 特別講演会場(豊田講堂ホール)

【LIFE2012若手プレゼンテーション賞(YP賞)】

発表時に満35歳以下で優秀な発表を行った登壇者を表彰します。ただし、講演申し込み時に審査希望登録をしている必要があります。各セッションの座長および会場の審査員により審査を行い、受賞者を決定します。受賞者の発表ならびに授賞式は最終日(11月4日)の閉会式の中で行います。授賞式に出席できなかった受賞者には後日、表彰状を送付いたします。

・LIFE2012若手プレゼンテーション賞授賞式 11月4日 14:45~15:30 A会場(321講義室)

【大会組織】

第12回日本生活支援工学会大会長

山田 陽滋(名古屋大学)

第28回ライフサポート学会大会長

松本 健郎(名古屋工業大学)

日本機械学会福祉工学シンポジウム2012実行委員長

辻内 伸好(同志社大学)

・実行委員会 (順不同)

委員長: 原 進 (名古屋大学)

副委員長: 山西 陽子 (名古屋大学)

委員: 森田 良文 (名古屋工業大学)

岡本 正吾 (名古屋大学)

香川 高弘 (名古屋大学)

加藤 大香士(名古屋市立大学)

丸山 央峰 (名古屋大学)

秋山 靖博 (名古屋大学)

益田 泰輔 (名古屋大学)

徳田 暁 (名古屋大学)

根本 哲也 (国立長寿医療研究センター)

坂口 正道 (名古屋工業大学)

加納 政芳 (中京大学)

中島 正博 (名古屋大学)

長井 力 (名古屋大学)

伊藤 安海 (名古屋大学)

白石 優子 (名古屋大学)

・プログラム委員会 (順不同)

委員長: 松浦 弘幸 (国立長寿医療研究センター)

副委員長: 森田 良文 (名古屋工業大学)

委員: 秋山 靖博 (名古屋大学)

荒田 純平 (名古屋工業大学)

伊藤 安海 (名古屋大学)

大河原裕晶 (国立長寿医療研究センター)

太田 進 (名古屋大学)

岡本 正吾 (名古屋大学)

香川 高弘 (名古屋大学)

加納 政芳 (中京大学)

久保田 怜 (国立長寿医療研究センター)

坂口 正道 (名古屋工業大学)

佐藤 徳孝 (名古屋工業大学)

祖父江 恵 (名古屋大学)

根本 哲也 (国立長寿医療研究センター)

正宗 賢 (東京大学)

田中 正夫 (大阪大学)

芝田 京子 (高知工科大学)

福長 一義 (杏林大学)

柴 建次 (東京理科大学)

矢口 俊之 (名古屋工業大学)

緒方 徹 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

山下 和彦 (東京医療保健大学)

松田 康広 (神奈川工科大学)

・出版委員会 (順不同)

委員長: 森田 良文 (名古屋工業大学)

副委員長: 坂口 正道 (名古屋工業大学)

幹事: 根本 哲也 (国立長寿医療研究センター)

委員: 秋山 靖博 (名古屋大学)

大河原裕晶 (国立長寿医療研究センター)

太田 進 (名古屋大学)

岡本 正吾 (名古屋大学)

加納 政芳 (中京大学)

久保田 怜 (国立長寿医療研究センター)

佐藤 徳孝 (名古屋工業大学)

長井 力 (名古屋大学)

・監事 (順不同)

大日方五郎 (名古屋大学)

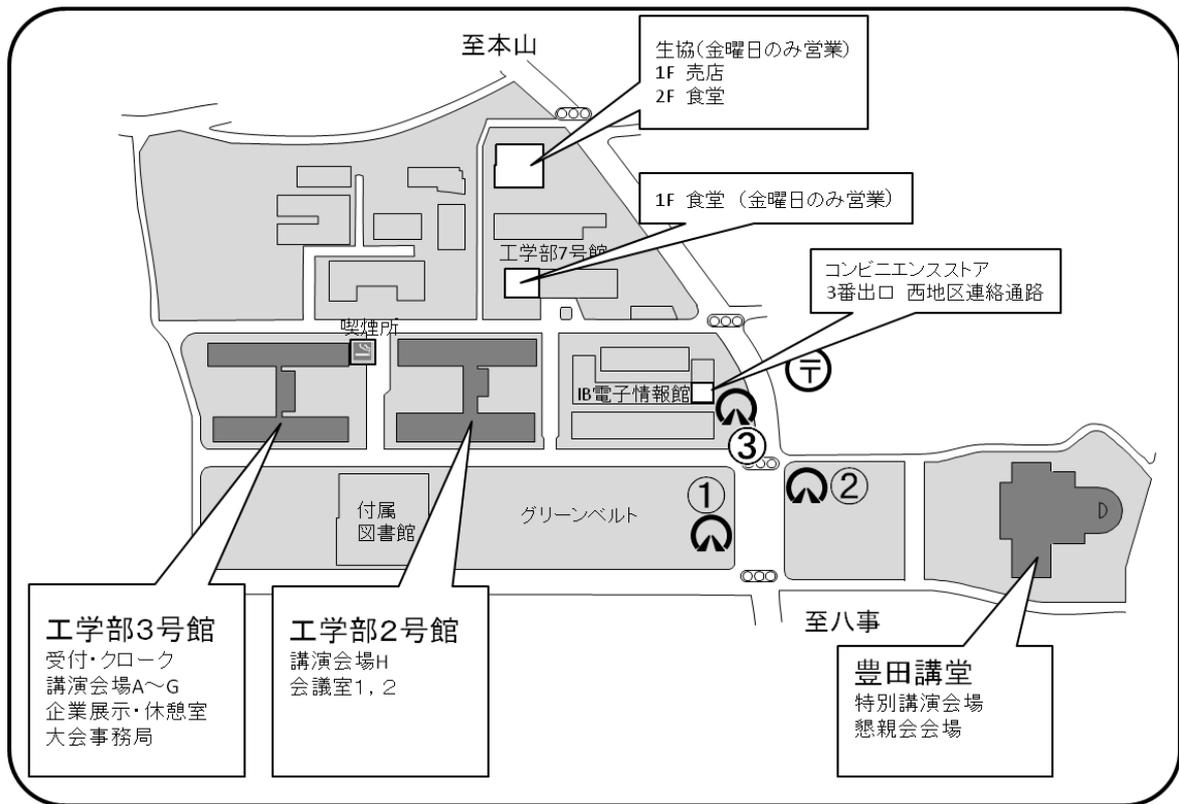
後藤 芳一 (日本福祉大学)

【会場案内】

講演会場： 工学部3号館・工学部2号館
特別講演会場・懇親会会場： 豊田講堂

・会場アクセス

市営地下鉄名城線「名古屋大学」下車。講演会場へは3番出口が便利です。



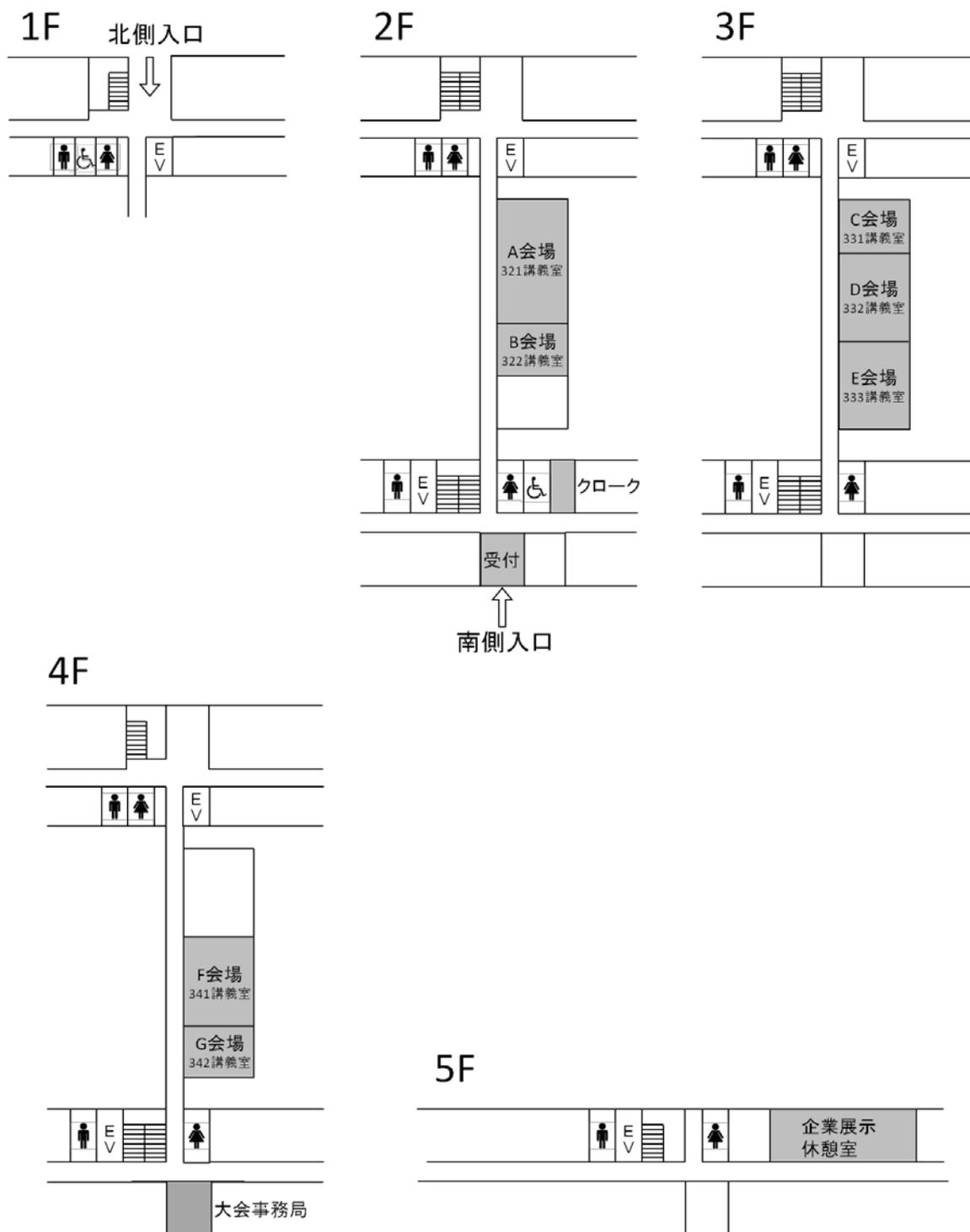
※キャンパス内では指定喫煙所を除き禁煙です。

【講演会場内配置】

・工学部3号館

受付： 南棟2階エントランスホール
クローク： 2階ラウンジ
大会事務局： 4階ラウンジ
講演会場： 2階A会場 (321講義室), B会場 (322講義室)
3階C会場 (331講義室), D会場 (332講義室), E会場 (333講義室)
4階F会場 (341講義室), G会場 (342講義室)
企業展示・休憩室： 南棟5階

会場配置図(工学部3号館)

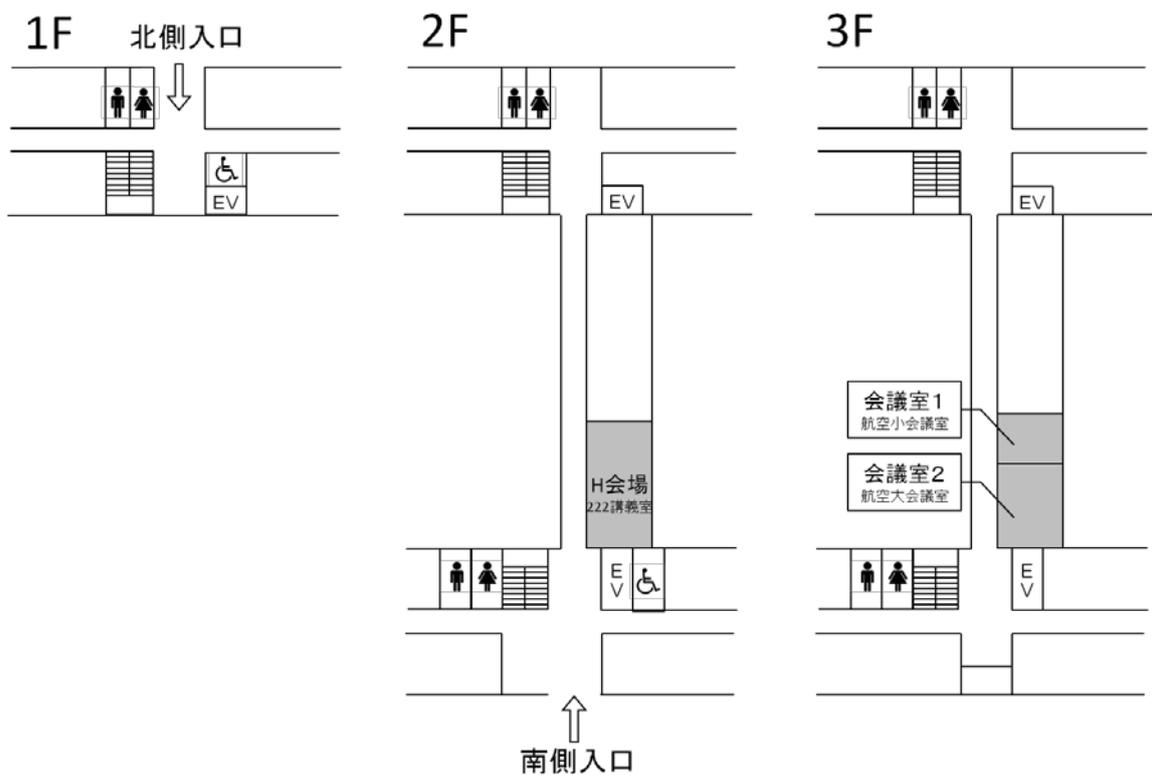


・工学部2号館

講演会場： 2階H会場(222講義室)

会議室： 3階会議室1(航空小会議室), 会議室2(航空大会議室)

会場配置図(工学部2号館)



【連合大会事務局】

〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町1

名古屋大学 大学院工学研究科 機械理工学専攻 安全知能学研究グループ LIFE2012事務局

E-mail: life2012@mech.nagoya-u.ac.jp